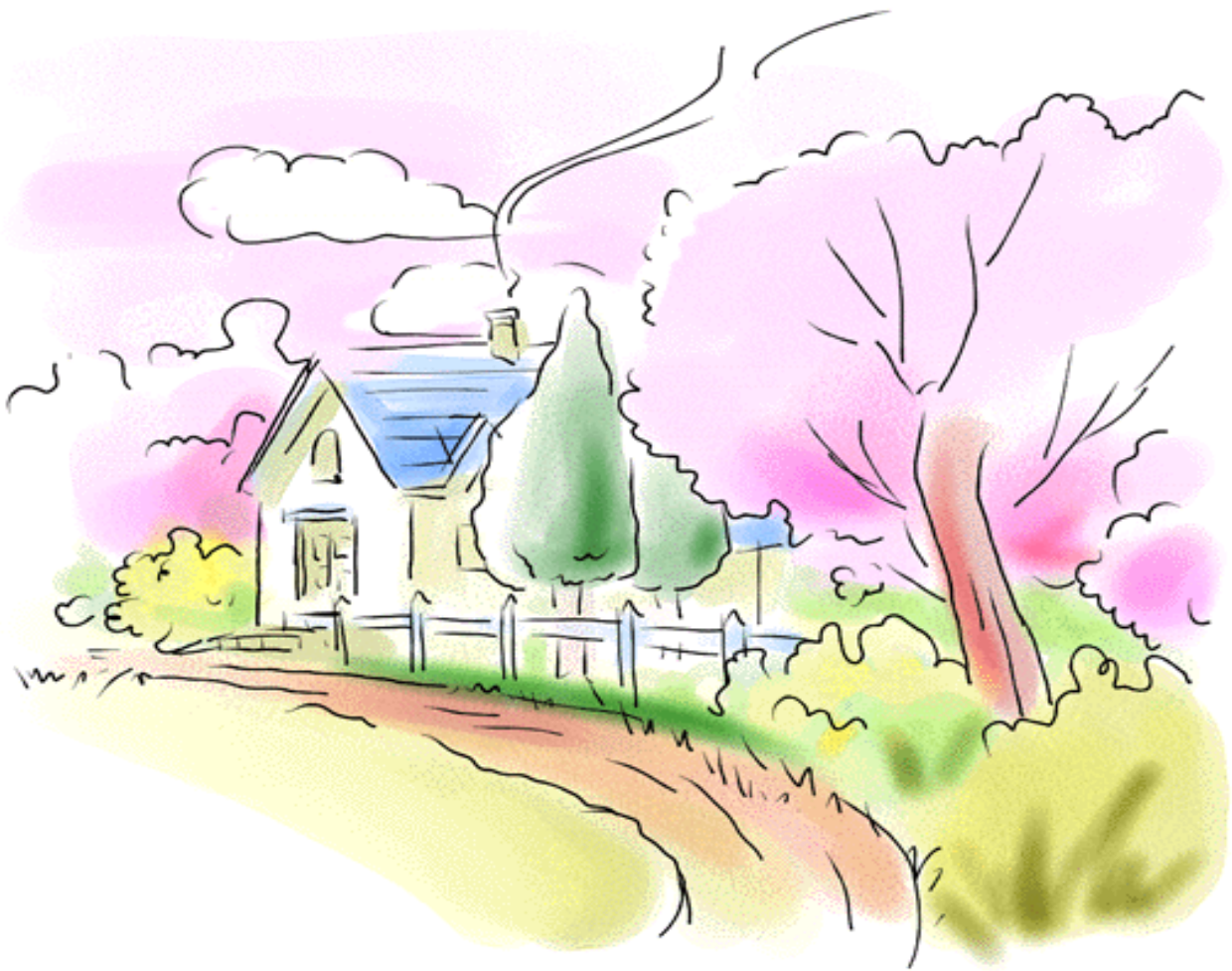


令和8年度

# 第39回 船橋市文学賞

## — 募集要項 —



募集期間：令和8年6月15日（月）～ 令和8年9月30日（水）

【今年度より過去に文学賞を受賞された方も同一部門  
に応募できるようになりました】

主催／船橋市教育委員会

## 第39回船橋市文学賞 募集要項

### 1. 募集期間 令和8年6月15日(月)～令和8年9月30日(水)

持参による提出〆切 : 9月30日(水) 午後5時  
郵送による提出〆切 : 9月30日(水) 消印有効  
電子メールによる提出〆切 : 9月30日(水) 必着

### 2. 部門と選者

|          |                      |
|----------|----------------------|
| 第1部 小説   | 森沢明夫氏(小説家)           |
| 第2部 児童文学 | 戸森しるこ氏(児童書の作家)       |
| 第3部 詩    | 中谷順子氏(詩人)            |
| 第4部 短歌   | 前田えみ子氏(歌人) 田中律子氏(歌人) |
| 第5部 俳句   | 能村研三氏(俳人) 加藤峰子氏(俳人)  |

(順不同、敬称略)

### 3. 応募資格

市内在住、在勤、在学、市内の公民館等で文化・芸術活動に参加している方  
※ただし、創作活動を職業とする方を除く

**※今年度より過去に文学賞を受賞された方も同一部門に応募が可能となりました。ただし、受賞可能な賞は特別賞のみとなります。**

### 4. 応募方法

持参・郵送の場合： 募集要項の「応募票」を記入し、作品に添付する。

電子メールの場合： メール本文に、氏名・電話番号等、「応募票」と同じ内容を入力。  
件名は“船橋市文学賞”とする。  
メール送信後、文化課に電話確認すること。(☎ 047-436-2894)

### 5. 応募規定 ※提出部数について、手書き原稿の場合は原本をコピーして必要部数を用意すること。

(データ提出の場合は不要)

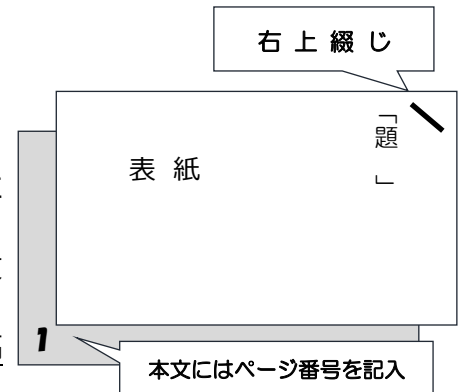
| 部門       | 部門別規定  | 提出部数※ |
|----------|--|-------|
| 第1部 小説   | 400字詰め原稿用紙、30枚～50枚。<br>(パソコン作成時の目安 12,000～20,000字)                             | 3部    |
| 第2部 児童文学 | 400字詰め原稿用紙、7枚～20枚。<br>(パソコン作成時の目安 2,800～8,000字)<br>幼児から小学生向け                   | 2部    |
| 第3部 詩    | 400字詰め原稿用紙、4枚以内、編数は問わない。<br>(パソコン作成時の目安 1,600字以内)                              | 2部    |
| 第4部 短歌   | 30首で1作品とする。作品に対して必ず題を付けること。<br>かな遣いは、新旧どちらでもかまわないが、どちらかに統一すること。<br>文頭に番号を付すこと。 | 3部    |
| 第5部 俳句   | 30句で1作品とする。作品に対して必ず題を付けること。<br>句は1行おきに書き、文頭に番号を付すこと。                           | 3部    |

## 【各部門共通事項】

- ① 表紙をつけること。（表紙は本文のページ数に含まれない）
- ② 表紙に、題名を記入すること。（氏名は記入しないこと）
- ③ 原稿は縦書きで作成すること。
- ④ 本文の全てのページ左下に、ページ番号を記入すること。
- ⑤ 手書き原稿は、400字詰め原稿用紙（A4判）を使用し、右上を綴じること。（ステープラー、クリップ、穴空け紐綴じ等）
- ⑥ パソコンで作成する場合は、A4判（用紙方向は横）で40字×30行、文字の大きさは12ポイントに設定すること。

小説・児童文学・詩部門については、文字数換算ではなく400字詰め原稿用紙に換算した枚数を表紙に明記すること。

（市ホームページから設定済みのファイルをダウンロードできます。）



## 【留意事項】

- ※ 本文学賞は、船橋市の文学活動の振興を図ること及び、創作活動をしている市民に作品発表の場を提供することで文化・芸術活動が盛んになることを目的としています。作品は自作かつ未発表（インターネット上などの誰もが閲覧できる状態にあるものは発表したものとします）のものに限ります。
- ※ 第三者の権利を侵害した作品、または生成 AI を用いた作品は無効です。その場合に発生した権利侵害に関わる諸問題は、応募者の責任となります。また、他の作品の模倣などの事実が判明した場合は、発表後であっても受賞を取り消します。引用等により著作権が関係する作品に関しては、掲載について別途協議します。
- ※ 複数部門への応募は可とします。ただし、1部門1作品のみの提出、応募作品は返却しません。
- ※ 審査に関する問い合わせには一切応じられません。

## 6. 賞

|                   |               |                        |
|-------------------|---------------|------------------------|
| 文学賞<br>(各部門1作品)   | 小説部門・児童文学部門   | 賞状 / 副賞 (賞金: 100,000円) |
|                   | 詩部門・短歌部門・俳句部門 | 賞状 / 副賞 (賞金: 50,000円)  |
| 佳作<br>(各部門最大2作品)  | 小説部門・児童文学部門   | 賞状 / 副賞 (賞金: 30,000円)  |
|                   | 詩部門・短歌部門・俳句部門 | 賞状 / 副賞 (賞金: 10,000円)  |
| 特別賞<br>(各部門最大1作品) | 小説部門・児童文学部門   | 賞状 / 副賞 (賞金: 30,000円)  |
|                   | 詩部門・短歌部門・俳句部門 | 賞状 / 副賞 (賞金: 10,000円)  |

※特別賞について・・・過去に同一部門で文学賞受賞経験のある方の応募された作品が、当該年度の文学賞作品と同等あるいはそれ以上の水準であると判断された場合に、「特別賞」とします。

## 7. 受賞者及び受賞作品の発表

- 受賞者へは、本人あてに通知を郵送する。
- 市広報紙に受賞者名及び受賞作品名を発表する（令和9年2月予定）。
- 受賞作品を収載した『船橋市文学賞作品集』を発行し、頒布・貸出を行う。
- 文学賞受賞作品は、船橋市ホームページに掲載する。

## 8. 授賞式 令和9年3月を予定。受賞者及び各部門選者の出席のもとに行う。

## 9. 著作権等について

著作権は、原則として本人に帰属する。ただし、船橋市教育委員会をはじめとする公の機関が刊行物・印刷物・ホームページなどに受賞作品を使用又は掲載する場合は、受賞者はその利用を承諾したものとする。

# 選者紹介

## 第1部 小説部門

### ●森沢明夫氏（もりさわ あきお）

小説家。昭和44年、千葉県生まれ。日韓でベストセラーとなった『虹の岬の喫茶店』は、吉永小百合主演映画「ふしぎな岬の物語」として公開され、モントリオール世界映画祭で二冠を獲得。さらに、高倉健の遺作となった『あなたへ』や、有村架純主演の『夏美のホタル』もヒットし、小説もベストセラーとなった。他にも『大事なことほど小声でささやく』『津軽百年食堂』『ライアの祈り』『癒し屋キリコの約束』『きらきら眼鏡』『おいしくて泣くとき』など、映画・テレビドラマ・漫画化したヒット作が多い。近著に『桜が散っても』『ロールキャベツ』『ハレーション』などがある。

#### 【主な著書】

『海を抱いたビー玉』『虹の岬の喫茶店』（2014年映画化）『癒し屋キリコの約束』（2015年テレビドラマ化）『夏美のホタル』（2016年映画化）『きらきら眼鏡』（2018年映画化）『エミリの小さな包丁』『ぶくぶく』『恋する失恋バスツアー』『青い孤島』『森沢カフェ』『大事なことほど小声でささやく』（2022年映画化）『おいしくて泣くとき』（2025年映画化）『あおぞらビール』（2025年テレビドラマ化）ほか

---

## 第2部 児童文学部門

### ●戸森しるこ氏（ともしるこ）

児童書の作家。昭和59年、埼玉県生まれ。東京都在住。『ぼくたちのリアル』で第56回講談社児童文学新人賞を受賞し、デビュー。同作は児童文芸新人賞、産経児童出版文化賞フジテレビ賞を受賞。『ゆかいな床井くん』で第57回野間児童文芸賞を受賞。

#### 【主な著書】

『十一月のマール』『理科準備室のヴィーナス』『ぼくらは星を見つけた』『ねぎのねぎしくん』『窓のまどかさん』『棚のタナカちゃん』（以上講談社）、『しかくいまち』（理論社）、『れんこちゃんのさがしもの』（福音館書店）、『ジャノメ』（静山社）、『ココロナカノノ』（光村図書）、『ミリとふしぎなクスクスさん～パスタの国の革命～』（ポプラ社）など。教科書掲載作品に「セミロングホームルーム」（三省堂・令和7年度版『現代の国語2』）、「おにぎり石の伝説」（東京書籍・令和6年度版『新しい国語五』）

---

## 第3部 詩部門

### ●中谷順子氏（なかたに じゅんこ）

詩人。昭和23年生まれ。日本現代詩人会、日本文藝家協会、日本ペンクラブ会員。千葉県詩人クラブ元会長。平成18年千葉県文化の日表彰（文化功労）を受ける。詩・文芸誌「覇気」主宰。千葉日報新聞・読者文芸「日報詩壇」選者。平成26年度「日本現代詩人賞」選考委員。千葉日報新聞に「房総の作家」を連載中（平成3年より令和6年まで連載）。

#### 【主な著書】

詩集『八葉の鏡』『白熱』『破れ旗』『冬の日差し』『缶蹴り』詩評論『現代詩・十人の詩人』『夢の海図』郷土文学『房総を描いた作家たち』6巻ほか

## 第4部 短歌部門

### ●前田 えみ子 氏 (まえだ えみこ)

歌人。昭和 11 年、高知県生まれ。昭和 34 年「高知歌人」入会。昭和 37 年上京。昭和 47 年「中央線」入会。中村純一に師事。昭和 63 年、富士田元彦主幹の「現代短歌雁」の第一回雁賞受賞。平成 18 年、第二歌集『蓑虫家族』で日本歌人クラブ南関東優良歌集賞受賞。船橋歌人クラブ会員。千葉県歌人クラブ理事。超結社「舟の会」同人。日本歌人クラブ会員。現代歌人協会会員。季刊誌「たんか央」代表。現在船橋市在住。

#### 【主な歌集】

『メドゥサの口紅』『蓑虫家族』

### ●田中 律子 氏 (たなか りつこ)

歌人。昭和 33 年、静岡県三島市生まれ。平成 17 年、「塔」短歌会入会。平成 20 年、第 20 回船橋市文学賞短歌部門佳作。平成 21 年、第 21 回船橋市文学賞短歌部門文学賞受賞。令和 3 年、第三歌集『森羅』で日本歌人クラブ南関東ブロック優良歌集賞受賞。現代歌協会会員、日本歌人クラブ千葉県幹事、NHK 学園短歌講座講師。

#### 【主な歌集】

『四季の迷路図』『プリーズ・コール・バック』『森羅』

---

## 第5部 俳句部門

### ●能村 研三 氏 (のむら けんぞう)

俳人。昭和 24 年、市川市生まれ。俳人協会新人賞受賞。市川文化会館館長、市川市文化国際部長を歴任。現在、公益社団法人俳人協会理事長。市川市文化振興財団理事。国際俳句交流協会副会長。市川市俳句協会会長。市川市手児奈文学賞選者。「沖」主宰。千葉県俳句作家協会会長。俳人協会千葉県顧問。朝日新聞千葉版俳句選者、読売新聞地方版四県選者。日本文芸家協会、日本ペンクラブ各会員。令和 3 年千葉県功労者表彰、句集『神鶴』にて第 9 回俳句四季特別賞受賞。

#### 【主な句集】

『騎士』『海神』『鷹の木』『磁気』『滑翔』『肩の稜線』『催花の雷』『神鶴』随想集『飛鷹抄』ほか

### ●加藤 峰子 氏 (かとう みねこ)

俳人。昭和 23 年、匝瑳市生まれ。千葉市在住。平成 10 年「鳴俳句」伊藤白潮に師事。平成 15 年、鳴新人賞受賞。平成 16 年、鳴賞受賞。令和 3 年、「鳴」第 5 代 代表。千葉県俳句作家協会副会長。千葉市俳句協会副会長。市川市俳句協会副会長。NHK 文化センター千葉教室講師。句集『鼓動』にて第 12 回文学の森賞・入賞受賞。

#### 【主な句集】

『ジェンダー論』『鼓動』

# 応募票

キリトリ線

令和8年度 第39回 船橋市文学賞・応募票

受付番号： \_\_\_\_\_

| 第 部            |           | 部 門                               |   |
|----------------|-----------|-----------------------------------|---|
| 題 名            | ふりがな      |                                   | 原稿枚数  |
|                |           |                                   | 枚   |
| 氏 名            | 本 名       | ふりがな                              | ( 歳)<br>学生： 年生<br>令和8年9月30日現在   |
|                | ペン<br>ネーム | ふりがな                              |   |
| 住 所            | 〒 -       | 電話番号                              |   |
| 勤務・学校<br>・活動団体 |           | 所在地                               |   |
| 応募回数           | 回目        | 何を見て応募<br>されましたか<br>(数字を○で<br>囲む) | 1.広報ふなばし 2.ポスター 3.市ホームページ<br>4.募集要項(配布場所： )<br>5.新聞・雑誌 ( )<br>6.その他 ( ) |

- ※ 題名・氏名(ペンネーム)には必ずふりがなを記入してください。
- ※ ペンネームを記載された場合は、広報紙や賞状など発行物すべてがペンネームでの掲載となりますのでご承知おきください。
- ※ 市外在住の方は必ず、勤務・学校・活動団体を記入してください。
- ※ ご記入いただいた個人情報は、船橋市文学賞の目的にのみ使用します。
- ※ 作品原稿は3年間保管した後、廃棄します。

## 作品の提出先・問い合わせ先

〒273-8501 (住所不要)

船橋市教育委員会 文化課 文化振興係

電話番号：047-436-2894

E-mail：bunka@city.funabashi.lg.jp